



奉仕しようみんなの
人生を豊かにするために

SENDAI MIYAGINO

Weekly report

No.968

国際ロータリー第 2520 地区
仙台宮城野ロータリークラブ

例会場/ ホテルメトロポリタン仙台
仙台市青葉区中央 1-1-1 Tel. 022-268-2525
例会日/ 毎木曜日 12:30~13:30
事務所/ ホテルメトロポリタン仙台内
Tel 022-268-3243 fax022-268-3296
Email : miyaginorc@dune.ocn.ne.jp
H P : http://www.miyaginorc.jp/

2021-2022年度 通算1151回 第19回例会 2022年1月27日号

【本日の例会】

- ◇ 開会点鐘
- 1. ローターソング . . . 我等の生業
- 2. ゲスト及びビジター紹介 . . . 親睦委員長
- 3. 会長挨拶 . . . 小原 喜公夫 会長
- 4. 幹事報告 . . . 本川 武志 幹事
- 5. ニコニコBOX . . . S-BOX委員長
- 6. 出席報告 . . . 出席委員長
- ◇ 閉会点鐘
- ◆ 「クラブ協議会」 . . . 各委員長発表

【会 場】

ホテルメトロポリタン仙台
21階 銀河 12:30~13:30

【本日の卓話】

12:30~ 例 会
13:00~ クラブ協議会
・各委員会活動中間報告

【例会予定】

- 2月3日(木) 通常例会・2月度定例理事会
卓話: 地区 RAC 委員会卓話
- 2月10日(木) 通常例会
補助金事業「交通事故被害者支援」贈呈式
- 2月17日(木) 親睦夜間例会「鍋を囲む会」

1月の月間テーマ
「職業奉仕月間」

1月のロータリーレート
1ドル= 115円

【会長報告】

小原 喜公夫 会長

○訃報

2000-2001 年度 RID2530 ガバナーの富永健男(とみながいさお)様(白河 RC)の訃報が届いております。謹んでお悔やみ申し上げます。

【幹事報告】

本川 武志 幹事

★インターシティ・ミーティングのご案内
日時: 2月23日(水) 登録受付 13:00
※お申し込みを締め切らせて頂きました。

★後期クラブ会費の納入期限は1月31日です。
宜しく願い致します。

☆時音の宿 湯主一條よりニュースレターを頂いております。

☆仙台いのちの電話より、広報誌およびコンサートのご案内を頂いております。

☆バキオ基金より 2020 年度事業報告が届いております。

在仙11RC合同麻雀大会中止のお知らせ

今年2月に予定されておりました在仙11RC合同麻雀大会は、オミクロン株の感染現状を踏まえて開催が見送られることとなりました。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

尚、来年度の開催につきましては、後日改めて担当クラブの仙台南 RC よりお知らせがございます。

1月13日 ニコニコBOX

- ★小原 喜公夫 会長 …千葉先生、卓話宜しく願い致します。
- ★千葉 健 会員 …明けましておめでとうございます。今日の戦略計画会議よろしくお願い致します。
- ★小松 清治 会員 …明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。
- ★小幡 敏美 会員 …新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。
- ★横山 昭一 会員 …明けましておめでとうございます。今年も宜しく願い致します。

宮城県へ「遺児等サポート奨学金」を寄贈致しました

1月12日に、先日、伊藤会員に手配をして頂いて、佐々木幸氏県議、本川幹事、小幡副幹事と共に宮城県庁に赴きまして昨年のクリスマス家族会のオークションでの売上金35万円を宮城県教育委員会伊東教育長にお渡ししてまいりました。

オークションのお金32.9万円にクラブから2.1万円を足して宮城県遺児等サポート奨学金へ寄付をしてまいりました。2年ぶりという事で伊東教育長からは大変喜んで頂き感謝のお言葉を頂戴してきました。

報告：会長 小原喜公夫



【宮城県遺児等サポート奨学金とは】

令和元年度から始まった奨学金制度です。東日本大震災以外の要因により保護者を亡くされた小・中学生が、安定した学校生活を送り希望する進路を選択できるよう、奨学金が給付されます。

(1月13日卓話報告)

仙台宮城野ロータリークラブ戦略計画会議および前期活動まとめ

千葉 健 委員長

クラーク会長提唱の、「全てのクラブは、5年後の自分のクラブがどのようになって欲しいかを自問し、会員にもたらす価値がどのようなものなのかを認識するために、年に何回かの戦略立案会議を設けて欲しい」と述べたのを受けて、我が宮城野ロータリークラブも先の例会で第2回の戦略会議を持ち、5グループに分かれると、喧々諤々、意見を出し合い、多くのアイデアが発表されました。

- 1 先ず、この様な昼の例会に、皆で膝を突き合わせ、ざっくばらんな話し合いを持つことの意義を再確認したことが第一の成果と思われれます。
- 2 次に各会員意見を振り返ってみますと、
富田会員・延川会員・内藤会員・佐藤邦彦会員のグループから、
・若い世代の会員を獲得、会員増強に加え、ガバナー年度へ向け、会員一丸となって取り組みたい。
森川会員・伊藤会員・荒若会員・横山会員から、
・クラブの活性化として、東北医科薬科大を候補とするローターアクトクラブの設立と、コロナ終息後には以前のような国際交流の再開。
小松会員・畑中会員・佐藤充会員から、
・初代会長堀籠さんの目指した良い雰囲気を持続し、会員同士の顔が見え、絆がある素晴らしいクラブなので、会員数が少ない短所も、長所にする。仙台宮城野RCの名前にちなんだ、当クラブらしい活動。
我妻会員・小泉会員・小幡会員・佐藤英征会員から、
・以前のオーストラリア協会との国際組織ロータリーといえる活動や、東北文化学園大にローターアクトクラブがあった頃の学生との楽しい交流はクラブの活性化。
本川幹事・小原会長・丹野会員・千葉から、
・会員増強において、学校関係者、JCOB会へ声がけし、若い世代の会員獲得に有効な外へ向けた活動情報の発信。

- 3 前期活動まとめとして、
新たな展開のコロナ禍の真っ只中で、こうした課題の実行は困難が予想されたとしても、取り敢えず、どれも実現不可能ではないと考えます。
今回の様に皆で話し合いを繰り返し、出来そうなところから、出来そうな会員から行動を起こしてみることが必要であることを再確認し、後期も含めて今後、皆様の協力の下、一つ一つ挑戦していきたいと思ひます。

1 月度定例理事会 議事録

2022.1.13 12:30~13:30 報告: 本川 武志 幹事

【議 題】

1. 1月の例会予定について

- 6日(木) 移動夜間例会「新年会」シーロン 18:30~ 16名参加終了
- 13日(木) 通常例会・1月度定例理事会 委員会卓話: 戦略計画委員会
- 20日(木) 休 会
- 27日(木) 通常例会「クラブ協議会」開催 ・中間決算報告と各委員会中間活動報告 >承認

2. 宮城県遺児等サポート奨学金への寄贈について

- ・クリスマス家族会チャリティーオークション収益金 329,000 円に、
社会奉仕委員会から 21,000 円を支出し、計 350,000 円を 1 月 12 日に宮城県へ寄贈 >承認

3. 2000-2001 年度 RID2530 ガバナー富永健男様(白河 RC) ご訃報に際し、ご冥福をお祈り致します

4. インターシティ・ミーティングについて

- 日時: 2022 年 2 月 23 日(水・祝) 受付 13:00~ 開会 13:30
- 会場: 聖和学園 薬師堂キャンパス 会費: 一人 1,000 円
- >会費は全額クラブ負担。会長・会長エレクト・幹事・次期幹事・永松会員 5 名で登録

5. 補助金社会奉仕事業「自動車事故被害者支援事業」について

- 交通事故により親を亡くした子供たちを中心に、事故被害者を含め 40 名に仙台 8 9 ERS のバスケット観戦グッズを贈呈 贈呈式: 2022 年 2 月 10 日(木) 例会時 >承認

6. 大村 RC 共同事業「オオムラザクラ植樹」について

- ・オオムラザクラ 3 本の植樹
- ・12 月 22 日、仙台市担当者、みやぎ造景との打ち合わせと植樹場所確認 済
- ・サクラの幼木が前回より小さいため、寒さに耐えられない可能性があり、3 月下旬~4 月ごろに運搬と植樹を行いたい
- ・式典については、5 月中旬の予定 >承認
- >広報活動も視野に進めていく(市からプレスリリース) 承認

7. 他クラブ創立記念式典について

- 仙台青葉 RC 創立 30 周年 2022 年 2 月 12 日(土) 出席者: 会長・幹事 2 名
- 仙台泉 RC 創立 50 周年 2022 年 3 月 12 日(土) ※延期のお知らせがございました
- 多賀城 RC 創立 50 周年 2022 年 3 月 12 日(土) 13:00~ ※中止のお知らせがございました
- >登録料は全額クラブ負担とする 承認

8. 2022-23 年度 地区補助金申請について

- ・佐藤邦彦会長エレクトより補助金申請をする旨説明があった
- ・奉仕事業「君たちの可能性は無限大(仮題)」…宮城県立こども病院、ドナルドマクドナルドハウスを利用しているお子様・ご家族を対象に、東北楽天ゴールデンイーグルスの試合観戦およびバックヤードツアーを企画したい。申請内容・費用については今後提案。
- ・開催時期 2022 年 9 月頃 事業費は 30 万円程度の見込み >承認

9. ガバナー準備委員会報告

- ・地区研修協議会日程の件 2023 年 4 月 16 日 仙台育英学園高等学校 決定
- ・「ロータリーの友」地区委員長推薦の件 澤田 一幸 会員 決定
- その他

>承認
以上

(ガバナーノミニー報告)

第50回 ロータリー研究会 ～テーマ「輝く未来を創る」～ 参加報告

IR 第2520地区 ガバナーノミニー 森川 昭正

去る令和3年12月5日から8日までの間、初めての本格的なガバナーノミニーとしての研修会に参加してきましたので報告をいたします。

本研修は3泊4日という日程で、初日のロータリー財団の話から始まり、GNTS（ガバナーノミニー研修会）、ロータリー研究会と連日で開催され、長時間かつ大変濃厚な内容でした。会場はJRタワー（丸の内）、ホテルオークラ、メルパルク東京（芝公園）、東京会館（丸の内）の4か所で、それぞれの会場を移動しての研修でした。シェカール・メータ IR会長、ユン・サンク-ロータリー財団管理委員会副管理委員長もオンラインで参加され、大変貴重な講演を聞くことができました。

自身にとって一番緊張したのはGNTSでした。全国34地区32名（2名欠席）のガバナーエレクトが集まり、これから何をしなければならぬか？何を準備しなければならぬか？自分の担当する地域をどうしていきたいか？リーダーとして自分の地区のロータリアンをどう導いていくのか？を問われ、考えさせられ、反省し、教えられた研修でした。正直、自分の経験不足やロータリー自体の奥の深さから、今回のGNTSだけでは吸収しきれない部分もたくさんありました。

研修の中で耳に残っている言葉が2つありました。1つはユン・サンク-ロータリー財団管理委員会副管理委員長の話の中で出た John Germ ロータリー財団管理委員長が言ったという「ロータリー財団とは“ロータリーの心そのもの”であり、財団は国際ロータリーという身体の中を流れる血液として栄養素と酸素を与える命を運んでいる」という言葉です。ポリオ撲滅までもう少しというところまで来ているのも、きれいな水が飲めない地域に清潔な水を届けることも、ロータリアンの気持ちのこもった財団への寄付がなければ成り立たず、自分の寄付が財団の血液になっているのだということを改めて感じました。

もう一つの言葉は、以前ローターアクトクラブに所属していて、現在は東京北 Exchange ロータリー衛星クラブに所属している大学生の西井彩香さんの講演中、会場の全ロータリアンに投げかけた「皆さん、ロータリークラブで何をしたいですか？」という言葉でした。一瞬、ドキッとしました。自分自身、ロータリークラブでやりたいことが具体化しておらず、「これだ！」というものが無かったからかもしれません。西井さんは「私はロータリークラブでやりたいことがたくさんあります。私はローターアクトクラブで体験できたことの恩返しをしたいんです。」と言っていました。ロータリーの支援で海外留学した経験、ローターアクトクラブでの多くの経験が彼女の人生にとって、とても「いいこと」になっているのだと感じました。

私は西井さんのお蔭で、自身のやりたいことを見つけられました。それは、こうした「若いロータリアンをたくさん育てたい」ということでした。こうした若い力を借りつつ、地域のロータリアンの交流、世代間の交流、まだまだ以前のように戻っていない沿岸部と内陸部の物流・交流、都市部と地方の交流、コロナ禍で収益が落ち込んでしまった業種や地域と、逆に収益が上がった業種・地域との交流を推進すると共に、そういったロータリー活動を通しての「交流」を職業奉仕の理念を以ってより強く実行することができれば、ロータリークラブとしての社会奉仕に繋がるのではないかと考えます。

足掛け4日間の研修で感じた内容はまだまだたくさんありますが、週報の紙面も限られておりますので、そろそろペンを置きたいと思えます。続きは追々何かの折にお話させて頂こうと思えます。これからガバナー一年度に向かって様々な準備があり、会員皆様にはご負担をおかけいたしますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



シェカール・メータIR会長 オンライン参加

辰野IR理事開会点鐘

ホテルオークラでの晩餐会

ロータリー研究会会場入口のR会長ご夫妻のパネル